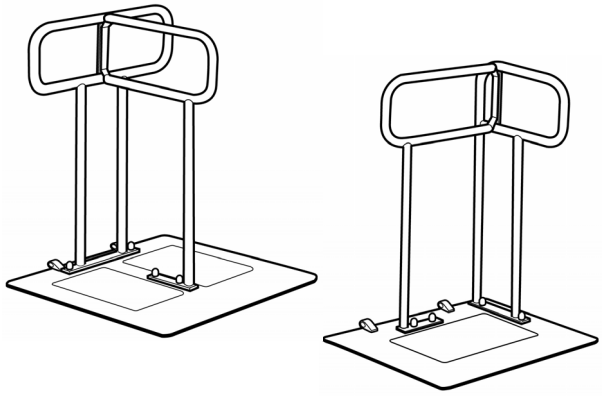
取扱説明書

トランスファー手すり

TT-100
TT-200



- このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
  正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- 「取扱説明書」は
  - 1部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
  - 1部を保存用として、大切に保管してください。

SAKAImed

03-032④L2

もくじ

✲安全上のご注意…… 3
✲各部の名称…… 4
✲ご使用になる前に …… 5
✲組み立て方法 …… 5
✲移動方法 …… 5
✲使用方法 …… 6
使用例１ …… 6
使用例２ …… 7
✲お手入れの仕方…… 8
✲機器の保守・点検について …… 8
✲保証とアフターサービス…… 9
✲仕　様…… 10

用途

本製品は、ベッドと車椅子間やベッドとポータブルトイレ間などのトランスファー、立つ・座るなどの動作トレーニングや動作補助を目的とした運動療法機器です。
使用者の自立へのモチベーションを高め、併せて介護者の負担を軽減します。

特長

- 現場の先生の意見・アイディアを基に、施設から在宅まで使用できるように開発されたトランスファー用の手すりです。
- TT-100 は、手すりがＴ字型を構成している為、手すりの左右どちらからでも容易にアプローチができ、麻痺の左右を問わず各自に適した使用ができます。
- TT-200 は、手すりがＬ字型を構成しており、必要な位置に設置してアプローチでき、各自にあわせてＬ型かＲ型のどちらかに組み立てて使用できます。
- ベース板に手すりが固定されている為、使用者の使い方に合わせてベース板の位置を動かすことができるので、各自に適した使用ができます。
- 移動用キャスターが装備されているので、移動が容易に行えます。

※安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

⚠危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

使用上の注意

⚠警告

手すりに体重をかけるときは、必ずゴムマット上に両足を乗せる

端に乗ると転倒し、けがをする恐れがあります。

⚠注意

改造は絶対にしない

破損や事故につながる恐れがあります。

すべてのねじが、しっかり締まっていることを確認

締まっていないと、手すりが傾いて使用者がけがをする恐れがあります。

ベース板や手すりが濡れていないことを確認

濡れていると滑って転倒し、けがをする恐れがあります。

手すりに 50kg 以上の力をかけない

それ以上の力をかけると、転倒または破損の恐れがあります。

医師や指導者の指示に従って使用

使用を誤るとけがをする恐れがあります。

用途以外の使用は禁止

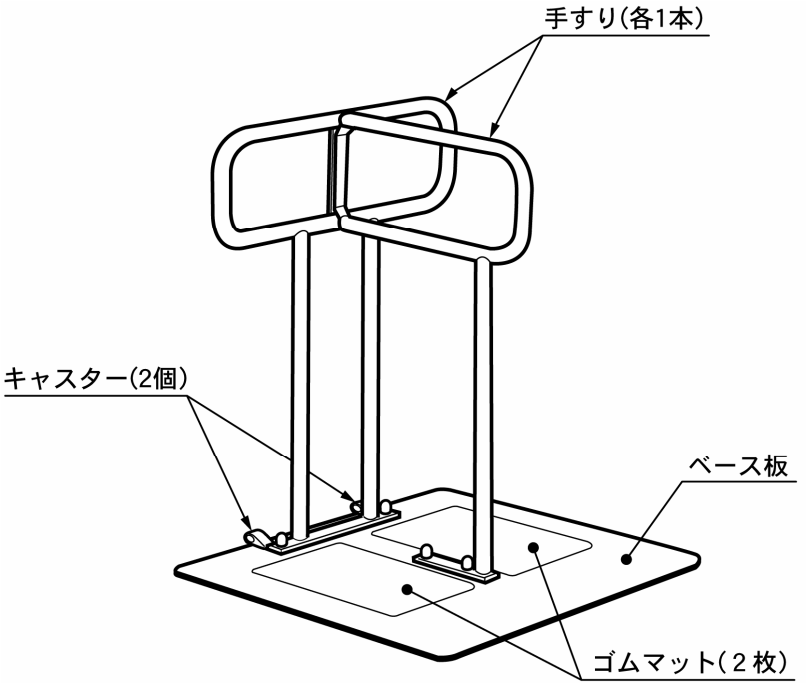
破損や事故につながる恐れがあります。

移動するときは、足を挟まないように注意

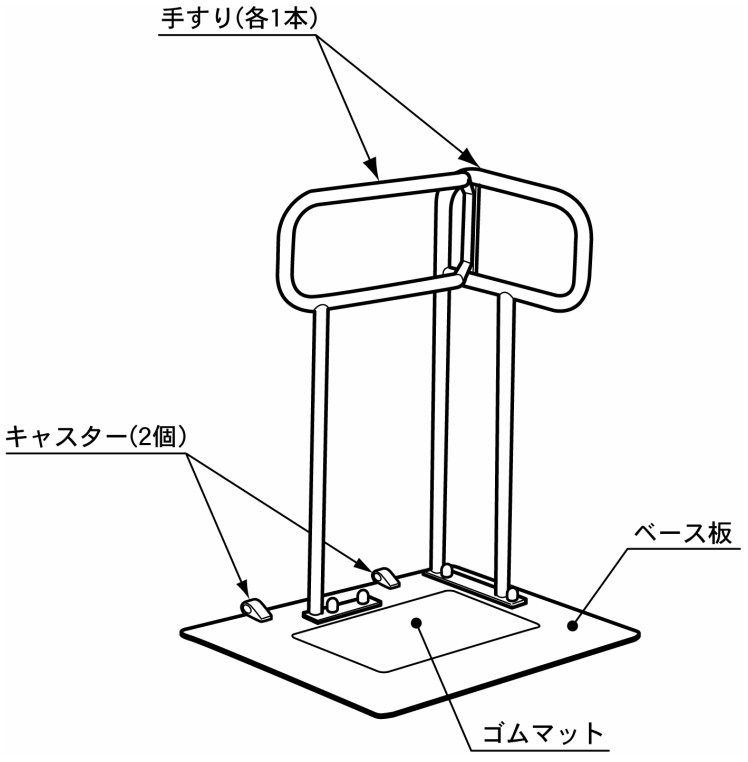
ベース板やキャスターで足を挟むと、けがをする恐れがあります。

※各部の名称

✹ トランスファー手すり(Ｔ型)　TT-100



✹ トランスファー手すり(Ｌ型)　TT-200



※ご使用になる前に

- ご使用前に本製品についてP.8の始業点検項目にもとづき、始業点検を実施してください。
- それ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、最寄りの営業所にご連絡ください。
- 破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

※組み立て方法

別紙の組立要領図に従って組み立ててください。TT-200 については、Ｌ型かＲ型を使用者に合わせて選択して組み立てます。

※移動方法

①2 本の手すりの上部を両手で持ち 2 つのキャスターの間に片足を乗せ、ベース板を軽く押えます。

②片足でベース板を押えて、手すりを体に引き寄せます。

③ゆっくりと手すりを下げてキャスターを地面に設置させます。

④手すりを両手で握り、前方へ移動します。

⑤移動後、片手を横手すりに持ち替え、2 つのキャスター間に片足を乗せベース板を軽く押さえます。

⑥ゆっくりとベース板を下ろします。

⚠注意　移動するときは、足を挟まないように注意

※使用方法

医師や指導者の指示に従い、使用者に合わせた方法でご使用ください。下記の使用例は参考です。

- ベッドサイドから車椅子
- 車椅子からポータブルトイレ
- プラットホームマットから車椅子等のトランスファーの補助
- 脱衣場で手すりにつかまっての着脱衣動作の補助

使用例１　右片麻痺者のベッドからの起立とベッドへの着座

①前方の手すりを握り、肘を手すり上に乗せます。

②肘に体重を乗せ、前傾姿勢で前方へ体を引き寄せます。

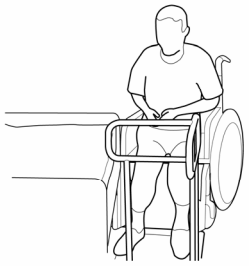
③前方の手すりで体を支えて、立位姿勢をとります。

④前方の手すりで体を支え、合わせて肘にも体重を乗せて、前屈姿勢になります。

⑤前方の手すりを握り、手すりに肘を乗せて腰掛けます。

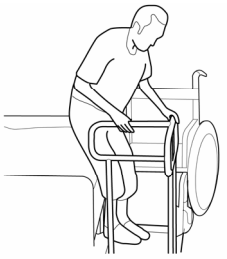
使用例２　左片麻痺者の 車椅子 ⟷ ベッド のトランスファー

①前方へ体を傾斜させます。

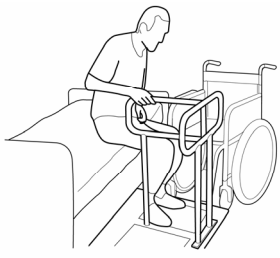


②右手で前方の手すりを握り、左手を側方の手すりに引っ掛けて、前傾姿勢から立ち上がり、立位姿勢となります。

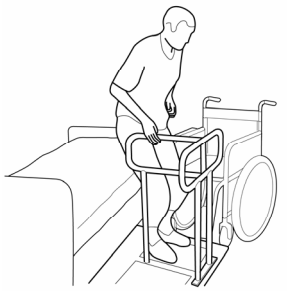
③体を 90° 回転させます。



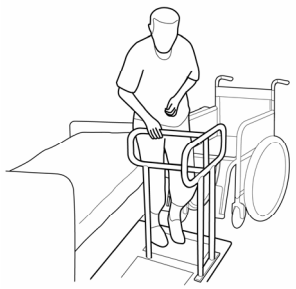
④手すりを握ったまま後方へ体重を移動し、腰掛けます。



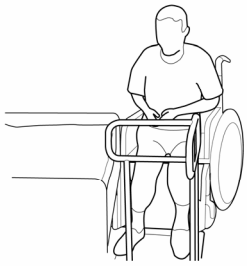
⑤側方の手すりを握り、前方へ体重を掛けて体を前へ引き、立ち上がります。



⑥手すりを握ったまま、体を 90° 回転させます。



⑦手すりを握ったまま後方へ体重を移して腰掛け、手すりから手を離します。



⚠警告　手すりに体重をかけるときは、必ずゴムマット上に両足を乗せる

⚠注意　ベース板や手すりが濡れていないことを確認

※お手入れの仕方

- 汗や汚れはすぐに乾拭きしてください。汚れのひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた雑巾を固く絞ってから拭いて、さらに乾いた布で仕上げてください。
- アルコール・シンナー等は使用しないでください。
- タワシや磨き粉入りスポンジは傷つけますので、使用しないでください。

⚠注意　ベンジン、シンナー等を使用しない

使用すると塗装面やマットを傷める場合があります。

※機器の保守・点検について

- 本製品をご使用する際は､機器の管理者の方が下記の点検項目に基づき、必ず始業点検を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- 点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	周囲の障害物の有無	目視
	本体の安定性	水平な面に置かれ安定していることを確認
	各部品のはずれ・がたつき、取付ボルトの緩み・脱落	目視 または、スパナ等による確認
	手すり・ベース板・ゴムマットの汚れ、損傷	目視

※保証とアフターサービス

保証書と保証期間

- 保証書（別添）はよく読んで大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレームは 5 年間、それ以外は 1 年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

  機種名　：　*TT-100,200*

  お買い上げ年月：　　年　　月

  故障状況(できるだけ詳細に)

  住所，氏名，電話番号

- メーカーより指示のあるとき以外は、決してあけたり分解しないでください。

損耗品（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が**約 2 年**のもの。

  ゴムマット

- 正常な使用において、交換の目安が**約 3 年**のもの。

  キャスター

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

※仕 様

	TT-100（T型）	TT-200（L型）
外形寸法（L×W×H）	650×800×815 ㎜	650×600×815 ㎜
手すり径	φ27.2㎜	φ27.2㎜
有効手すり長さ	360㎜(短部) 510㎜(長部)	255㎜(短部) 360㎜(長部)
質　量	約 26kg	約 18kg

注．都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。